

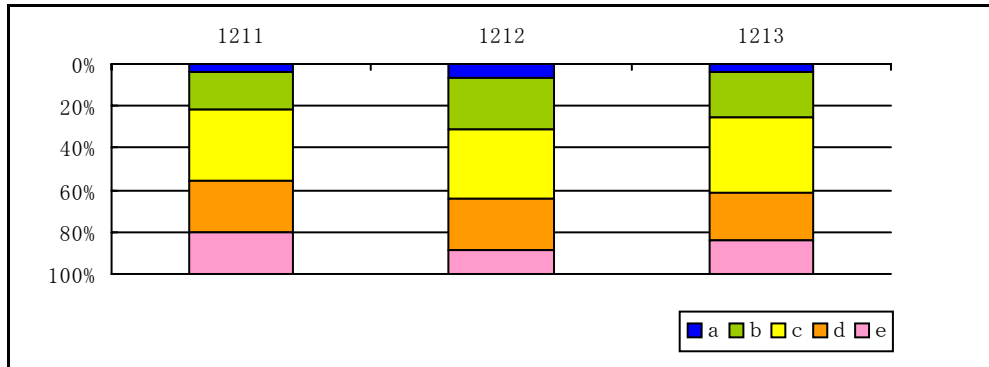
方向 だれもが住み慣れた地域社会のなかで、そのひとらしい幸せな日常生活が健やかに送れるよう、保健・医療・福祉などくらしの基盤となるサービスや支援ネットワークが充実しているまちの実現をめざす。

評価
C (C) 客観指標については、全6項目のうち介護保険に係る2項目でc評価であるが、障害者介護に係る2項目でa評価であり、全体としては良い状況である。
 市民生活実感については、地域社会における相互支援に関してd評価であるが、福祉サービスに関する2項目ではc評価であり、全体としてはどちらとも言えない状況である。
 客観指標評価及び市民生活実感評価を総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。

○政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価(アウトカム指標での評価)

1211	ボランティア相談件数(件)	3082	b
1211	ボランティア登録者数(人)	42401	b
1212	介護保険施設の利用者数(人)	9268	c
1212	介護保険における居宅介護支援利用者数(人)	31476	c
1213	精神障害者居宅介護等事業の延べ利用時間数	21493	a
1213	居宅介護(支援費)の延べ利用時間数	817480.83	a

○市民生活実感評価



1211	万が一のことがあっても地域で支えあう仕組みがあるので、安心である。	d (d)
1212	高齢者とその家族を支えるサービスが充実している。	c (c)
1213	障害のあるひとやその家族を支えるサービスが充実している。	c (c)

<参考>この政策を実現するための施策とその総合評価

施策名	住み慣れた地域のなかで支え合い安心してくらすしくみづくり	評価:
1211 概要	地域社会での相互支援の仕組みを再構築するとともに、福祉ボランティアの活動を支援し、地域社会全体で支援の必要なひとの生活を支える社会を構築する。	C (C)
施策名	高齢者とその家族の生活を支えるサービスの充実	評価:
1212 概要	高齢者とその家族が安心して生活できるよう、多様なサービスを提供する。	B (B)
施策名	障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実	評価:
1213 概要	障害のあるひととその家族が安心して生活できるよう、多様なサービスを提供する。	B (C)